

ハヤブサ

ニュース

No.39



絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

京丹後の今

2014年12月、米軍Xバンドレーダー基地が運用開始して4年と8ヶ月。

この運用まで防衛省は、地元の「安心・安全」の要求に対して平身低頭、要求は全て丸呑み、「政府がしっかり責任を持ちますので」と。

ホテルでの集団居住、基地とホテル間の通勤・退舎はマイクロバスでの集団移動、電磁波・騒音はなくする、景観は守るなど…極めつきは「Xバンドレーダーは防衛用のものだから地元には危険はない」と。守られたものは一つとしてない。

交通事故は既に60件を越え、商用電力に切り替えても住民に無断で「メンテナンスのため」と称して発電機が鳴り響く。景観は見るも無惨、九品寺周辺は窒息しそう。

ドクターヘリ運航時の停波しなかった件は「意思疎通の問題、訓練で解決」と技術的なことでうやむや。

今問題になっている交通事故の概要報告は打ち切り、今後は特別な過酷事故以外は件数のみ報告すると日米合同委員会の確認を押しつけてきている。これは引き下がれない。住民の「安心・安全」に直接関わることだから。これまで交通事故は、その度に「安安連」に概要説明があり、その報告をもとに安全対策が取られてきた。今後は安全対策さえ取りえなくなっている。

問題の第一は、この日米の「事件件数のみ」の報告に京丹後市の副市長が「評価する」と。地元の「安心・安全」の護民官であるべき地方自治体のこのていたらく。この「壁」を突き崩せなかったら地元住民の期待は萎縮するだろう。なんとしても副市長の発言撤回、交通事故の概要報告継続は勝ち取らなければならない。

日米地位協定と日本国の主権

さて、この「壁」は、日米地位協定、そしてその運用を扱う地位協定第25条の日米合同委員会である。

「防衛省による約束破りを許さない！
米軍Xバンドレーダー基地撤去！

10・19京都集会

14:00・京都教育文化センター 101会議室

集会終了後 デモ→市役所前へ

ご参加を呼びかけます。

主催：米軍Xバンドレーダー基地反対京都連絡会

日米地位協定抜本改正を求めて、11月10日（日）の「米軍基地いらんちゃフェスタ IN 丹後」に総結集しましょう。

10月19日は集会後に京都市役所前までデモを行い、市役所前での19行動に合流・参加します。

これまで米軍基地とその軍人・軍属が犯した全ての案件で米軍の強姦・殺人・放火・交通事故による殺人さえ第17条で米軍の特権を認め低い起訴率と軽微な判決を押しつけられてきた。

特に沖縄ではこの第17条の米軍特権を問題にし、基地以外で起こる苛酷事件・事故については日本側の捜査・逮捕権を認めるよう日米両政府に迫ってきた。しかし日本政府は運用見直しのみで改正に動かなかった。

これに対して「日本政府は米軍の言いなりをやめよ、米軍のポチ、日本は米軍の植民地扱い」という批判が出て「日本の主権を取り戻し、行使せよ」の声が上がっている。この批判の感情は理解出来るが批判の仕方が誤っている。

日本政府は主権を行使している。

日本政府は、1951年9月のサンフランシスコ・対日講和条約と旧日米安保条約を締結した時から日本の国益追求の主権を行使してきた。

地位協定において苛酷事件・事故は、特に在日・在沖米軍基地周辺、女性に対する強姦・殺人などが頻発してきた。

結論から言えば、日本政府（支配階級）にと

って米軍基地周辺で起こる事件事故は「ある特定の地域住民」に限定され、そこに封じ込める限り問題はない、と言う度し難い差別が基地配備政策で進められてきたのだ。沖縄がその典型である。

日米安保も地位協定も日米の国民間で結ばれたものではなく、日米支配階級の利益を目的とした同盟であり、それ故支配階級同士の国益に叶ったものとして主権を行使しあっている。

だから「安倍政権は米国のポチになるな、日本は米国の植民地状態だ、安倍政権は主権を取り戻せ」などの声は、安倍政権を叱咤激励するナショナリズムに取り込まれる。

現にその動きは始まっている。

故翁長知事が生前、全国知事会で粘り強く沖縄の実態を踏まえ、ドイツ・イタリアの地位協定を調査し比較して日米地位協定の差別性を指摘し、改正を訴えつけた。

2018年7月、全国知事会が「日米地位協定改正」を政府に提出した。沖縄県以外は保守系知事、全会一致とのこと。保守系知事達が政府に相談なくするはずがない。政府の内諾を得ているはずだ。その後、政府外務省も地位協定について「前向き」な話を流し始めていた。

今年7/8 沖縄タイムスは、「国内で米軍機事故が起きた際、日本側が現場に立ち入ることが出来るよう日米地位協定に基づくガイドラインを見直すことが大筋合意された」と報じた。

しかし、法的拘束力を持つ改定か運用改善かは明らかになっていない。また、米軍機の事故に限っているし、また、日本側は現場に立ち入ることは出来るが事故機の調査などは米軍の許可がいる、と但し書きがつけられている。ふざけるんじゃない、と言いたい。

みたび

三度はじまる安保闘争に備えよう！

トランプが「日米安保は不平等だ」と発言している。冗談と見てはならない。2005年の「日米同盟の変革と再編」で在沖海兵隊のゲームなどへの分散移転を確認している。

2015年の日米防衛新ガイドラインでは、日本の防衛範囲が「日本列島とその周辺およびそれに近接する海空域（東アジア空海域）」と確認されている。2018年の新防衛大綱はそれらに見合った軍拡を予定している。

米国は新型ミサイル実験を再開し、アジア太平洋圏に新たなミサイル防衛網を加速させると発言した。韓国は無理、残るは日本が対象だ。

安倍内閣が進める憲法改悪は同時に日米安保・地位協定の再改定も狙っている。三度、日米安保・地位協定改定か廃棄かの闘いが始まる。

朝鮮敵視で要塞化する米軍Xバンドレーダー基地を撤去しよう！ 日本列島ミサイル防衛網作りの国策と対決しよう！

朝鮮半島に吹いている平和の風は THAAD 配備反対を闘い続けるソングジュ（ソソンリ）やキムチョンの人々と彼らを支援する韓国の平和団体によって担われている。

文在寅大統領は、板門店宣言の具体化を進めきれず、むしろ米韓合同軍事演習の再開で朝鮮敵視を続けている。朝鮮は6発の弾道ミサイル実験で対抗した。決して朝鮮半島に平和の風が吹いているとは言い難い。

秋田、萩のイージスアショア、沖縄諸島のミサイル配備、既に青森の津軽・車力分屯基地に配備されている米軍 X バンドレーダーとその近くに PAC-3 が配備されている。

現在、京丹後では、兵舎や運用官舎が完成間近であり、つづいて防御壁、銃座付き監視塔、鋼鉄の防空シェルター配備が計画されている。

併せて京丹後にミサイル配備、PAC-3 又は THAAD 配備は時間の問題と推察して誤りはないだろう。

既にイージス艦母港の舞鶴、陸自福知山の海兵隊への訓練転換、饗庭野でのオスプレイによる都市型暴動鎮圧訓練が行われている。これら近畿の日米両軍の基地が共同使用され、一大軍事要塞がつくられつつある。朝鮮半島に向けた敵対行動は、日本政府にとって軍拡と改憲を進め、国民を排外主義で取り込むための一大国策となっている。

沖縄・韓国・京丹後を結ぶ国際連帯で安倍内閣と対決しよう！

11/10 米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後が開催される。京丹後、饗庭野、舞鶴、福知山の基地撤去を闘う仲間と共に近畿から現地に結集しよう。辺野古の闘いに連帯し、関生支部にかけられた組織破壊攻撃に対決し、韓国民衆と共に闘おう……

大湾



語りつくせぬ：沖縄の旅

福井 滲子

某誌に「観光でない沖縄の旅」とあり、今だ！と申し込んだところ、実績豊富なのになぜか応募が少なく中止。ならば一人旅OKと出発した。

7/29 那覇空港着14時半。旅行案内所で、予定プランを元にこれからの動きを確認した。対応する人の親身なこと。

7/30 宿からほど近い県庁前、目印の幟と共にここに顔の女性が立っている。

オール沖縄那覇のバスで一路辺野古へ。平日のことで一行は11人。まとめ役の長堂(ながどう)登志子さん、テキパキと明るくしゃべらせ上手。私はXバンドレーダーの現状はもとより、年齢経歴まで丸わかり状態にされた。

10時半辺野古テント着、山城博治さんの変わらない顔にほっとした。ほどなくドイツの平和団体「国際平和ビューロー(IPB)」の共同代表ライナー・ブラウン氏が見え、明晩那覇市内でシンポジウムがあること(チラシ配布)、ドイツの平和運動、日本の改憲への動きへの憂慮など話され、ゲート前座り込みに参加された。

山城さんが聡明な戦略家であり、気遣いの人であることを私は再確認した。

機動隊に向かって、「ドイツの客人を迎え国際的な注視の下、行動に配慮せよ」と釘をさし、防衛局の職員がこっそり立っているのを見つけて、「基地のそのコーナーにいることは違法行為だ」と厳しく糾弾した。おみごと！

7/31 名護市に1泊、阿波根昌鴻さんが命を



「ヌチドゥタカラの家」提供

かけ思想をかけて闘った拠点「ヌチドゥタカラの家」を訪ねた。膨大な資料と阿波根さんの温顔の遺影。

謝花悦子館長さんの残念そうな表情におわびして、フェリーとバスで再び辺野古テントへ。

著名な牧師平良修さんご夫妻との約束があったのだ。今は亡き、星野文昭さんを「とり戻す全国組織」の共同代表としての認識しかなかった私だったが、それにとどまらないお二人のお人柄に深く胸打たれた。2013年NHK「こころの時代」は今もアンコール放映を重ねている。

夕方那覇着。シンポジウムの会場てんぷすホールへ急ぐ。ブラウン氏、高里鈴代さん、安次富浩さんによるお話とパネルディスカッション。ブラウン氏が玉城知事に会えてこの会が急に実現したとか。

会場は大いに盛り上がり長堂さんが歯切れよく質問した。持参したXバンドレーダーの現地ビラ200枚、街中ビラ100枚はここで全てなくなった。

(8/1, 2のことは、紙幅なくやむなく駆け足で書くことにします)

8/1 那覇市からバスで1時間、宜野湾市の佐喜眞美術館へ。丸木夫妻作「沖縄戦図」の大画面の前に立ちつくし、佐喜眞館長のお話に時を忘れた。岩波ブックレットを帰りの飛行機内で読み、ますます敬服するばかりだった。那覇市に戻り不屈館(瀬長亀次郎と民衆資料)で沖縄の闘いの原点と歴史に接した。

8/2 はやくも帰りの日。9時開館の対馬丸記念館へ。外間(ほかま)邦子常務理事の静かな口調は強く悲しく心に迫るものだった。当時小学校4年と2年のお姉さんがたが海に消えたのだ。(そのことは私の質問で始めて明かされた。) 尚、館長さんは、ご両親と7人の兄弟姉妹が亡くなり4歳だった館長さん唯1人が奇跡的に救われたという。

ぼーっと思考停止している人の多い本土と大きく違うのは、沖縄のたくさんの人々の心と身体は、今も、又これからも「戦争」の中を生きてゆくのだということなのだ。

次代に託す時の来ている私たち戦争世代だが、力の限り、もう少し、前に進もうと思う旅だった。

「街なかピラ」の報告

7月19日（金）の予定は雨で中止しました。

第81回 8月1日（木）「JR二条駅」周辺 6人

（この日は猛暑で40分程で終了しました。）

◇コープ二条店に買い物に来られる人はピラの受け取りがとても良い。半数近く受けとってもらえる。

◇「共産党か」と聞く人がどこで実施しても多い。

◇「米軍基地は不安やな～、でも守ってもらってるし」と考えている人も多い。

◇いろいろな人と対話できるのが、この行動の良さです

次回の「街なかピラ」の案内です。

第82回 8月23日（金）11時～12時

「御園橋商店街」

（このハヤブサが届く時は既に終了しています）

第83回 9月9日（月）11時～12時「烏丸北大路」

集合場所：烏丸北大路交差点の西南角

第84回 9月20日（金）11時～12時 阪急「西院」駅

集合場所：西大路四条交差点の西南角

ご都合の付く方は是非参加してください。

(090 - 5672 - 1597 白井)

9月「例会」のお誘い

9月例会は、9月26日（木）18時30分から東山いきいき市民活動センターの302会議室で行います。

発題は、南野さんと南さんの8月沖縄現地闘争報告、今ひとつは、萩・阿武町へのエイジアショア配備反対運動との交流の報告です。

沖縄の人々はあきらめず、闘い続けています。沖縄現地闘争報告とエイジアショア配備反対を闘っている萩・阿武町の現場に参加した報告です。是非、ご参加ください。

日時 9月26日（木）18：30（無料）

場所 東山いきいき活動市民センター 302号室

連絡先 090-1590-9469 山本純

安倍政権の今 静養ゴルフどころでないのだが…

大湾

参議院選挙で安倍内閣は改憲勢力で過半数は制したが憲法改正発議に必要な2/3に届かなかった。又、改憲勢力の全国比例票は、自民・公明・維新とも前々回以降傾向的に減らしている。

安倍内閣自慢のアベノミクスも破綻している。企業の大儲けにかかわらず労働者の実質賃金は低下し、食料品や公共料金の相次ぐ値上げで生活は厳しい、特に、全労働者の1/3、2150万人に達している非正規雇用労働者の窮乏は押して知るべきだ。

100年安心社会保障は、民主党政権時の2012年の社会保障給付の国内総生産GDPに占める割合は、22.06%であったが、安倍内閣になって以降2016年には高齢化で上昇圧力が働いているのに21.68%と低下している、と大沢真里東大名誉教授は暴露している。国民が稼ぐ国内総生産から社会保障は確実に削られている。その上、2,000万円貯めないと老後は生きれない、とこの2,000万円の脅しは、一方でスマホで出来る小口証券、債券の規制緩和で大衆からギャンブルまがいの資金集めで独占企業・銀行など金融資本の資金集めを後押しし、他方で2019年の「骨太方針」では、「70歳まで働け、病気になるな、怪我するな、お上に頼るな」とハッパをかけている。この結果、厚生労働省の発表では、2018年の労災発生状況は、死傷者数全体で12,7329人（うち死亡者909人）。この内60歳以上は前年比10.7%増え、33,240人（26.1%占め）、70歳前後の労災発生率は30歳前後と比べると男性は2倍、女性は5倍に達している。

長時間労働の是正では、一部専門職を労働時間規制から外して「時間ではなく成果で評価する」成果主義を導入し、このノルマ主義に煽られた日本郵政・かんぽ生命保険労働者の実態こそ直視し、改革しなければならない。簡保保険では不正契約3,000万件の調査に入っている。同一労働同一賃金も「正規・非正規に不合理な格差は禁止」としているが法的拘束力はない。又、この不当な格差は労働者側に証明を求めている。

アジア、特に朝鮮、韓国を歴史的に見下し、差別してきた日本政府。その根拠が今揺らいでいる。

朝鮮の「核とミサイル」技術の脅威的な発展。その知的・技術的水準に恐怖している。特に米本土に届く「火星15」と打ち上げ方法も通常方式とロケット方式、更に今回開発された低空飛行で高低差をつけて飛行するイスガンデル型弾道ミサイルに。

徴用工問題の報復として日本は経済制裁に出た。

IMFが伝えている。「韓国は、2023年には豊かさを示す個人GDPで日本を抜く」と。ドイツに負けたではなく「あの韓国」に負けるという日本政府の危機感。

韓国への経済制裁の背景に文在寅政権打倒と共に韓国経済への打撃が目論まれている。安倍内閣はますます排外主義を強めるだろう。許してはならない。